

I. 平成 26 年度 事業報告書

1. まえがき

この報告書は、平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の事業実績である。

2. 概 況

「アルカス SASEBO」の管理運営を行う指定管理者として、佐世保市から指定されるとともに、当年度の事業計画に基づき、地域文化の振興と育成、地域文化活動の活性化を目指し、設立の趣旨に沿った各種事業（自主・共催事業、コンベンション事業、ホールボランティア事業、友の会事業）を実施した。

3. 庶務報告

(1) 監査の実施

平成 26 年 5 月 7 日に平成 25 年度決算監査を実施した。

(2) 会 議

① 第 15 回理事会 平成 26 年 5 月 14 日

- ・定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
- ・平成 25 年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

② 第 12 回評議員会 平成 26 年 5 月 29 日

- ・平成 25 年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・理事、監事の改選について
- ・評議員の改選について

③ 第 16 回理事会 平成 26 年 5 月 29 日

- ・理事長（代表理事）の選定について
- ・常務理事（業務執行理事）の選定について
- ・常勤理事の報酬月額について

- ④ 第 17 回理事会 平成 26 年 10 月 6 日
 - ・ 定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
 - ・ 平成 27 年度事業計画について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑤ 第 13 回評議員会 平成 26 年 10 月 14 日
 - ・ 平成 27 年度事業計画について
 - ・ 評議員の改選について

- ⑥ 第 18 回理事会 平成 27 年 2 月 10 日
 - ・ 定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
 - ・ 平成 27 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
 - ・ 給与規程の一部改正について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑦ 第 14 回評議員会 平成 27 年 2 月 24 日
 - ・ 平成 27 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

4. 事業報告（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）

平成 26 年度は、アルカス SASEBO の開館 14 年目、また指定管理者として第 2 期の 4 年目の年であった。今年度も引き続き「新日本フィルハーモニー交響楽団」、「アルカス・クアルテット」、「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」の 3 本の事業を中心に事業を展開するとともに、新しい取り組みとして、佐世保市との共催で、文化庁の地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ「新国立劇場を活用した現代実演芸術の普及事業」（新国立劇場バレエ団『しらゆき姫』）も実施。市内のバレエ関係団体との協力・連携を図った。また、JAZZ の街“佐世保”の更なる発信を目指し、例年よりも多い 4 本の JAZZ コンサートに取り組んだ。

自主・共催事業として 49 本を実施。うち鑑賞事業として 23 本、市民参加型事業として 26 本実施し、延べ 61,412 人の皆様にご来場いただいた。

（1） 自主・共催事業（49 本）について（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

鑑賞事業（23 本）

自主事業として 15 本、佐世保市およびテレビ局などとの共催事業として 8 本を実施。アンケート結果とホールの特性を活かしながら様々なジャンルの公演を行った。要望の多いオーケストラ公演ではジブリ映画音楽をナレーション入りで聞く「新日本フィルハーモニー交響楽団」と、ウィーンのニューイヤーコンサートさながらの華やかな「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」をお楽しみいただいた。

JAZZ の街“佐世保”を発信する公演として、大ホールでは世界的な JAZZ プレイヤーの MALTA（4 月）と山下洋輔（7 月）、共催事業として恒例の「佐世保 JAZZ」（10 月）を実施。イベントホールでは、クリスマスにふさわしいライブハウス形式でのライブを行った。夏休みの親子向け企画として「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場『しらゆき姫』」、「栗コーダーカルテットファミリーコンサート」を行ったほか、共催事業として若者に人気の「HY」など多彩な公演を行った。クラシック音楽に最適な中ホールでは、「ゲルハルト・オピッツ」「中丸三千繪」「牛田智大」によるリサイタルと、霧島国際音楽祭提携公演として「堤剛&チェロアンサンブル」のほか質の高いクラシック音楽公演を行った。客席を身近に感じられるイベントホールでは、恒例の「アルカス映画祭」、「アルカス新春寄席」のほか「カンツォーネライブ」や共催事業として「杉山清貴ライブ」を行った。

市民参加型事業（26 本）

自主事業として 21 本、文化団体、新聞社との共催事業 2 本、佐世保市からの受託事業 3 本の計 26 本を実施。育成事業の「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」は、約 100 人の団員が在籍、『第 2 回定期演奏会』や初めての合宿練習、出張演奏も行い、より充実した活動となった。普及事業として、ジュニアオケの講師を中心とした地元演奏家によるオーケストラと佐世保市出身などの演奏家による「アルカス“キラッ都”させぼコンサート」、レジデンス弦楽四重奏団「アルカス・クアルテット」、「ランチタイムコンサート」、「0 才からのクラシック」、「ロビーコンサート」と公共ホール演劇ネットワーク事業、交流事業の「伝統文化佐世保子ども茶道教室」、「アルカス市民音楽祭」も引き続き実施。夏休みの企画として「ホール探検ツアー」も実施した。平成 26 年度から再始動した「アルカス演劇さーくる」は、札幌の劇団の共催を得て札幌公演も行った。

共催事業として創立 50 周年を迎えた「佐世保市民管弦楽団 第 66 回定期演奏会」、恒例の「長崎新聞クリスマス子ども大会」を実施。佐世保市からの受託事業として普及事業の「こどものための音楽鑑賞体験教室」、育成事業の「させぼ文化ウィーク」、新たに交流事業の「芸術家派遣事業」を実施した。

(2) 施設の維持管理及び管理運営業務について

(定款第4条第1項第2号関係・第5条第1項第1号関係)

芸術文化振興と地域活性化のための施設提供事業及び公益目的事業以外の施設提供事業と駐車場運営事業を行った。

区分	可能 日数	稼働 日数	稼働率	利用者数 (人)
大ホール	248	168	67.7	139,557
中ホール	263	158	60.1	29,632
イベントホール	279	201	72.0	44,358
大会議室	335	327	97.6	49,230
中会議室	335	322	96.1	14,745
小会議室	335	319	95.2	6,102
特別会議室	331	55	16.6	1,254
控室(応接室)	333	241	72.4	1,088
和室	335	242	72.2	5,596
茶室	291	37	12.7	209
第1リハーサル室	338	258	76.3	16,652
第2リハーサル室	337	252	74.8	17,728
練習室1	335	296	88.4	6,887
練習室2	335	289	86.3	6,076
練習室3	335	287	85.7	2,006
交流スクエア	334	302	90.4	79,391
ステッププラザ	251	67	26.7	7,444
アルカス広場	260	73	28.1	13,637
合計				441,592

施設提供事業については、利用者数が441,592人、施設利用料及び附属設備使用料収入は93,164,280円であった。

駐車場運営については、利用台数が31,358台、利用料収入は11,251,800円であった。

(3) コンベンション事業について

(定款第4条第1項第2号関係)

地域活性化に寄与するコンベンションについては、平成27年3月末の開館14年間で162件、約32万人の大会参加者を迎え入れることができた。

コンベンション開催の際は、式典・講演会を2,000人収容の大ホールで実施し、分科会を中ホール・会議室で行い、懇親会・展示会などはイベントホールを平土間（フラット）にして行うなどアルカス SASEBO の施設特性を最大限活かした利用方法を提案している。

[平成26年度 コンベンション実績] 平成26年4月1日～平成27年3月31日

大会名	開催日	使用施設	参加 延人数
第59回九州吹奏楽コンクール予選 長崎県吹奏楽コンクール	7月27日～29日、8月3日	大ホール・イベントホール・会議室・リハーサル室・その他	10,130人
第30回（一社）長崎県手をつなぐ育成会 佐世保大会	8月2日	中ホール・会議室	470人
第62回日本PTA全国研究大会長崎大会 第59回九州ブロックPTA研究大会長崎大会	8月22日	大ホール・イベントホール 会議室・その他	1,060人
（一社）茶道裏千家淡交会佐世保支部 創立60周年・青年部創立45周年記念大会	9月20日	中ホール・イベントホール 会議室・その他	870人
長崎がんばらんば国体長崎がんばらんば 大会 佐世保市開催直前イベント	9月23日	全館	2,070人
第69回国民体育大会ハンドボール競技会 オープニングセレモニー	10月15日	大ホール・会議室・リハーサル 室・その他	1,500人
第36回佐世保市民芸術祭	10月19日	大ホール・会議室・リハーサル 室・その他	3,150人
第21回 JaSECT 九州地方会秋季セミナー inSASEBO	11月8日	会議室	130人
第38回県民五流謡曲大会	11月9日	中ホール・会議室	260人
平成26年度長崎県障害者芸術祭	12月7日	大ホール・リハーサル室 その他	1,600人
産業教育130周年記念事業 平成26年度長崎県産業教育フェア	12月13日	中ホール・イベントホール 会議室・その他	1,660人
長崎がんばらんば国体 佐世保市事業概要説明会	平成27年 1月15日、16日	イベントホール・会議室 練習室	120人

大会名	開催日	使用施設	参加 延人数
日本医療マネジメント学会 第15回長崎支部 学術集会	平成27年 2月14日	中ホール・会議室	310 人
計13件			23,330 人

(4) ホールボランティア事業について
(定款第4条第1項第3号関係)

平成12年10月、アルカス SASEBO の自主事業を支援する市民参加型のホールボランティア制度を設け、手当は提供しないものとして募集を行い、活動をスタートし、自ら愛称をサーブ (SAV : 佐世保・アルカス・ボランティアの略) と名づけ、主にチケットのもぎりや、プログラム配布、客席の案内などの公演運営に関わる活動を行っている。

また、財団職員による「事業説明会」も定期的を実施し、公演情報の取得、ポスターやチラシを配布するなど、広報活動にも取り組んでいる。

さらに、外部講師を招いてのアナウンス研修など、知識と技術向上を目指した研修も開催している。

ボランティアの自主的な活動と、コミュニケーション作りの場として「SAV 通信」をボランティア編集員の手により年4回発行しているほか、ボランティア同士が交流する場として「アミーチの会」も随時実施し、より良い活動になるよう取り組んでいる。

そして、開館15周年である平成27年度に合わせて、SAVの公演運営に関わるホールならではの接客ルールをまとめた「マニュアル BOOK」を昨年度1年間、3回のボランティア会議を経て作成。今後の活動の指針として、より高い接遇・接客を目指す研修に役立てる大きな成果物の完成となった。

平成27年3月31日現在の登録人数 61人

自主共催事業への参加	延べ活動数	59回	延べ参加人数	429人
自主共催事業以外の研修等への参加	延べ活動数	22回	延べ参加人数	336人

(5) 友の会について

(定款第5条第1項第2号関係)

アルカス SASEBO の自主文化事業を支える友の会組織として開館前からスタートしたアルカスクラブ。個人会員として、ホワイト会員、オレンジ会員と、オレンジ会員を継続し移行するゴールド会員の3つに、法人会員を加えた4つの会員制度を用意している。

平成21年度より開始した、会員向けの講演会「文化茶話」は、自主事業に関連した内容で興味や理解が高まる機会となるよう曲目解説や聴きどころなどを話していただくスタイルと、ピアノ解体や演奏中のピアノにふれてみる参加型のスタイルとで、会員以外にも対象を広げて実施。毎年恒例の会員限定バスツアーでは、平成26年10月に福岡キャナルシティ劇場 劇団四季「キャッツ」公演鑑賞日帰りバスツアー、平成27年2月には iichiko 総合文化センターでの歌劇「オテロ」公演鑑賞宿泊バスツアーを実施した。その他、優待公演としてランチタイムコンサートV・VI・VIIおよびホール探検ツアーを行い、文化を広く深く楽しむアルカスクラブとして事業を推進した。

平成27年3月31日現在会員数 2,559人

ゴールド会員 1,305人 / オレンジ会員 369人

ホワイト会員 872人 / 法人会員 13法人